

催吐リスク PTX(weekly)

乳 Pembro200d1+(P80+C1.5)d1.8.15/c21d ①

薬剤名	投与経路	投与量	希釈液	点滴時間(分)	投与日(day)
アプレピタント	注射	125	mg		1
クロルフェニラミンマレイン酸塩	注射	5	mg		1
ファモチジン	注射	20	mg		1
デキサメタゾン	注射	3.3	mg 生食	100 mL 30	1
キイトルーダ	200	mg/body	生食	100 mL 30	1
パクリタキセル	80	mg/m ²	5%糖液	250 mL 60	1.8.15
カルボプラチン	1.5	AUC	5%糖液	250 mL 30	1.8.15
				mL	
				mL	

内服薬

投与基準等

I. 投与に際しての注意事項

術前①Pembro+wTC 療法 4 サイクル施行後に術前②Pembro+AC 療法 4 サイクル施行
術後 Pembro200mg を9サイクル施行 or Pembro400mg を 5 サイクル施行

II. 投与・休薬基準 (例:白血球 $\geq 2000/mm^3$ 、好中球 $\geq 1000/mm^3$)

キイトルーダによる irAE

6週以内にプレドニゾン換算10mg 以下のステロイドでコントロール可能にならなければ投与中止

好中球 $\geq 1500/mm^3$

血小板 $\geq 100,000/\mu L$

Hb $\geq 9.0g/dL$

Scr ≤ 1.5 Ccr $\geq 50mL/min$

T-Bill ≤ 1.5

AST,ALT $\geq 2.5 \times ULN$

Ⅲ. 減量基準 (例:Grade3 以上の好中球減少時、次回より投与量を80%に減量)

キイトルーダ

減量基準なし

パクリタキセル

1段階減量 70mg/m²

カルボプラチン

1段階減量 AUC1.1

【weeklyTC 時 フィルグラスチム Day2-6併用可能(ジーラスタは不可)】

AC 1段階 20%減量

Ⅳ. 重大な副作用 (例:好中球減少 Grade3 以上37.5%)

Grade3以上 貧血18%、好中球減少34.5%、irAE12.9%

添付参考資料(文献・ガイドライン・治験計画書・研究計画書)

[N Engl J Med 2022;386:556-567 Event-free Survival with Pembrolizumab in Early Triple-Negative Breast Cancer](#)

